

事業番号	02 03 03	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域間幹線バス路線確保維持費補助事業			担当課	部局	企画部	
					課・室	交通政策課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり ◆ 公共交通網の確保			実施期間	S47 ~	

1 事業の概要

目指す姿	広域的・幹線的なバス路線を運行する乗合バス事業者に対し、運行欠損費及び車両減価償却費等を補助することにより、乗合バス事業者の路線バスの運行を支援し、地域間幹線バス路線の維持存続と利便性の向上を目指す。 成果目標:公共交通機関利用者数103,077千人(H22) → 103,077千人(H29)											
現状	○地域間幹線バス路線の運行欠損費及び車両減価償却費等に対し、国と協調して県が補助することにより、5事業者が運行する32系統を維持している。 ○乗合バス事業者は経営状況の悪化から、車両の更新が進まず、乗合バスの低床バス導入率は30.2%となっている。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 国と協調し、県が主体的に取り組む必要がある。 地域間幹線バス路線確保維持費補助金交付要綱										
事業内容	① 成果目標(H26)											
	○地域間幹線バス路線の年間利用者数 2,822千人 (設定理由:現在ある地域間幹線バス路線の確保維持を目指して、現状と同数の利用者数2,822千人を設定) ○地域間幹線バス路線の系統数 32系統 (設定理由:現在ある地域間幹線バス路線の確保維持を目指して、現状と同数の系統数32系統を設定) ○乗合バスの低床バス導入率 41.3% (設定理由:乗合バスの全車両低床化(平成32年度目途)に向け、低床バス車両の導入率の向上を目指し、41.3%と設定)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目	実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)						
	1. 地域間幹線系統確保維持費補助金	補助金	・乗合バス事業者の地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助(5事業者、32系統) 【補助率:国1/2、県1/2】		122,606	128,819						
	2. 車両減価償却費等補助金	補助金	・乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等に対する補助(4事業者、継続14台・新規導入7台) 【補助率:国1/2、県1/2】		15,027	24,623						
			合計		137,633	153,442	0					
事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況				
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算	99,282	109,443	137,633	153,442	目標			成果	達成状況	
		補正予算		5,278								
		合計(A)	99,282	114,721	137,633	153,442	0			地域間幹線バス路線の輸送人員	2,822千人	
	Aの財源	国庫支出金						地域間幹線バス路線の維持	32系統	32系統		
		県債						乗合バスの低床バス導入率	35.5%	41.3%		
		その他( )										
		一般財源	99,282	114,721	137,633	153,442	0					
	ト	決算額(B)	99,282	114,721								
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20							
	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	1,652	0						
	概算事業費(B(A)+C)	100,934	116,373	139,285	155,094	0						
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		(指摘事項等)				(対応)						
要求からの主な変更点												